

校長室だより

第10号

柏原市立堅下北中学校
校長 石田 智
令和6年1月10日（水）発行

新年あけましておめでとうございます。平素は本校の教育にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。本年も教職員が一丸となり、保護者の皆様との連携を大事にして、お子様の健やかな成長のために尽力してまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

〇3 学期始業式の講話より

新年あけましておめでとうございます。

この言葉を言ってよいのか、ためらってしまうような年始でしたね。元旦の夕方には能登半島で大きな地震が起きた上に、翌2日の夕方には羽田空港で旅客機と海上保安庁の航空機の衝突事故もあり、ともに尊い命が失われました。犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈りしたいと思います。

避難訓練でもお話していますように、災害はいつ起こるか分かりません。いつも学校で避難訓練をしていますが、阪神・淡路大震災、東日本大震災、そして今回の能登半島地震、これらはすべて学校の始業時間外に起こっています。ですので、避難訓練の際に教わった対処方法を思い出し、いざという時に命を守るために、そして被害を最小限にするために何をすればよいのかを常に意識しておいてください。

さて、3学期の始業式は新年初めての集会でもあるということで、それにちなんだお話をしたいと思います。

よく「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞くとと思いますが、これは充実した一年を送るためには一年の初めである元旦にきちんと目標や計画を立てて取り組むことが大事だという意味であります。この言葉の由来を調べてみると、諸説あるようですが、古く中国の明（みん）の時代の憑慶京（ひょうおうきょう）という学者が唱えたものであるというのが一般的なようです。ところでこの言葉にはまだ続きがあることをご存じでしょうか。実は、後には「一生の計は勤（つとめ）にあり、一家の計は身にあり」という言葉が続きます。つまり懸命働くことでその人の一生が決まり、身体を大事にして健康でいることが一家の行く末を決めると意味合いになります。早くに目標を立て、一生懸命取り組み、そして健康でいること。それは今も昔も変わらずとても大事なことであるということですよね。

今日から3学期のスタートであり、新年は始まったばかりです。これから学活などの時間で新年の抱負を書くこともあると思いますが、「思い立ったら吉日」という言葉もあるように、新学期を迎えた今、今年頑張りたいことを言葉にし、早速実行に移してみたいはいかがでしょうか。そして同時にインフルエンザ等から身体を守るために、手洗いや換気など、自身の健康を維持することを意識していただければ嬉しいです。



〇1、2年生の授業参観について

去る12月22日（金）に「はなまる連絡帳」にてお知らせしましたように、1、2年生の授業参観につきましては、学年閉鎖のため実施できませんでしたので、以下の日程で行う方向で現在調整しております。

日時:2月8日（木）午後

時程などの詳細につきましては、近日中に案内を出させていただきます。

なお、2年生の保護者の皆様におかれましては、参観後に体育館にて進路説明会を行う予定ですので、併せてご参加いただきますようお願い申し上げます。

〇令和5年度学校教育診断アンケート

本校では保護者の方々の視点で1年間の教育活動について評価いただく機会として年に1回「学校教育診断アンケート」を実施させていただいております。本年度につきましても、近日中にお子様を通じてアンケート用紙をお渡しします。なお、本年度より回答は紙媒体ではなく、QRコード読み取りによるweb回答となります。

学校の教育課程編成の基準である学習指導要領においては「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校の連携・協働の推進の重要性が示されております。教職員による自己評価だけでなく生徒たちや保護者の皆様方から評価いただくことは、多面的に教育活動を振り返るために大変重要であります。事実、年度初めに学校経営方針を策定するにあたっては、本アンケートの結果を大いに参考にさせていただきました。保護者の皆様方におかれましては、年始のお忙しい時期である上に、通信費については皆様のご負担になり大変申し訳ないのですが、本校の教育の充実のためにご協力いただければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

※学校の日々の様子はホームページに適宜アップしております。是非ご覧ください。

堅下北中学校ホームページ・アドレス www.katashimokita-j.city.kashiwara.osaka

